

未就業看護職員実態調査 報告書

目次

I 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査日	1
4. 調査内容	1
5. 調査方法	1
6. 調査対象者数と回答状況	1
7. 未就業者の属性	2
1) 性別・年齢	2
2) 居住地域別（医療圏域別）	2
3) 保有資格と経験年数	2

II 未就業看護職員調査結果

1. 看護職として就業経験がある施設	3
2. 看護職として最後に退職した施設	3
3. 施設での勤続年数	4
4. 施設の退職理由	4
5. 未就業の期間	5
6. 再就職希望の有無	5
7. 再就職希望条件	6
1) 再就職の希望時期	6
2) 再就職を希望する施設	6
3) 再就職にあたっての希望条件	7
8. 夜勤を可能とする条件	11

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、新潟県内に住所を有し新潟県ナースセンターに登録している看護職の実態を調査し、未就業看護職の就業を促進することを目的とする。

2. 調査対象

- 1) 新潟県内でナースセンターに登録している未就業者で、「就職活動中」の看護職
- 2) ナースセンター未登録で看護職の離職時等の届出登録のみをしている未就業者で、「就職していないが求職中」の看護職

3. 調査日

平成 30 年 7 月 1 日～8 月 15 日

4. 調査内容

別紙調査用紙のとおり

5. 調査方法

調査対象者に自記式調査票の郵送配布・郵送回収および Web、メールにて回収した。

※倫理的配慮として、調査内容はすべて統計処理し、個人が特定されないこと及び調査票の記入は自由意志に基づくものであり、返送しない場合であっても不利益は生じないことを明示した。

6. 調査対象者数と回答状況

調査対象者数 1,111 人
回答数 338 人（回収率 30.4%）

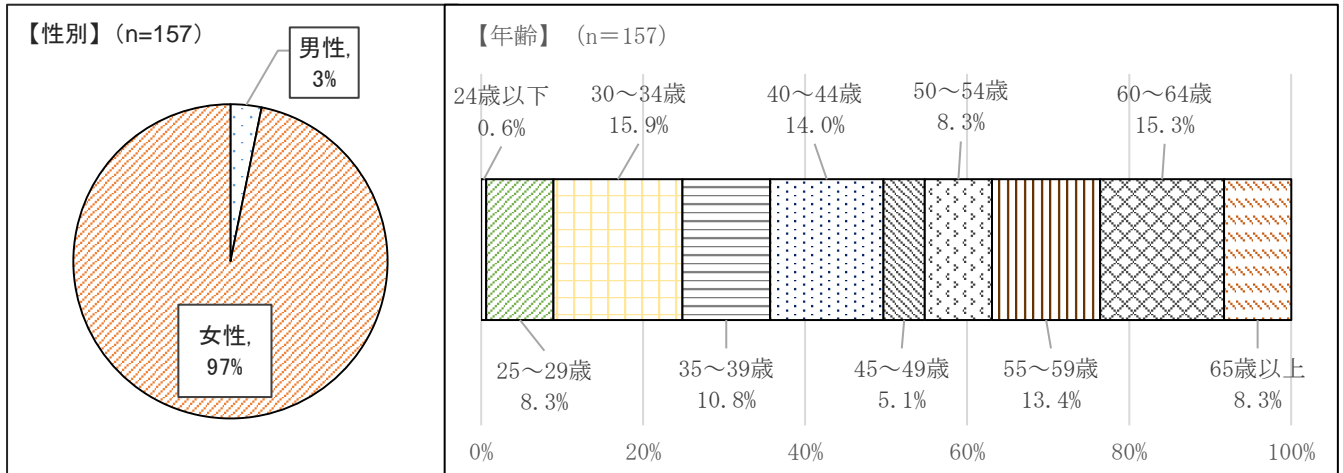
※上記回答者のうち、すでに就職している登録者からの回答もあった。

【内訳】	未就業者数	157 人	(46.4%)
	就業者数	181 人	(53.6%)

7. 未就業者の属性

1) 性別・年齢

未就業者 157 人について、男女別では、97%が女性であった。年齢別では 30～40 歳代が全体の 4 割以上を占め、30～34 歳が 15.9%で最も多く、次に 60～64 歳が 15.3%と多かった。



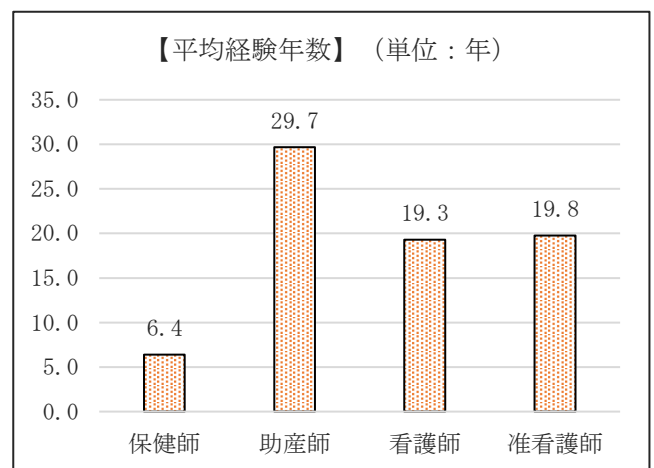
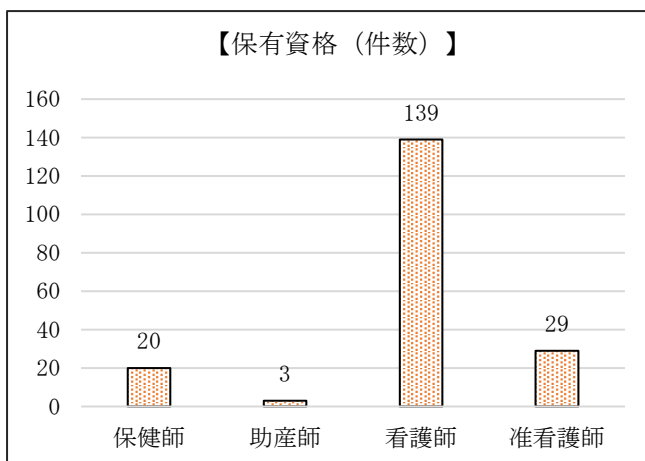
2) 居住地域別（医療圏別）

居住地域別では、「新潟」が最も多く、次いで「中越」、「上越」の順であった。

	合計	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
下越	14	0	1	2	3	1	0	0	2	1	4
新潟	75	0	7	14	7	14	5	9	7	5	7
県央	9	0	1	0	2	2	0	1	2	1	0
中越	34	1	1	7	2	1	2	2	5	12	1
魚沼	8	0	2	2	0	1	0	0	3	0	0
上越	16	0	1	0	2	3	1	1	2	5	1
佐渡	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
全体	157	1	13	25	17	22	8	13	21	24	13

3) 保有資格と経験年数

保有資格は看護師が最も多く、平均経験年数では助産師が平均 29.7 年と最も長かった。



II 未就業看護職員調査結果

1. 看護職として就業経験がある施設

就業経験がある施設は、「病院」が最も多く、157人中94.3%であった。次に「診療所」が多く、20.4%であった。

■看護職として就業経験がある施設（保有資格別）

※複数回答

回答者の資格	病院	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	通所介護	その他（介護施設）	訪問看護ステーション	行政（市区町村等）	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	学校（看護職）	その他	看護職経験なし
保健師（n=6）	3	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0
助産師（n=2）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師（n=131）	131	25	4	9	12	7	3	7	2	1	1	4	1	4	0
准看護師（n=18）	12	7	5	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
全体（n=157）	148	32	9	14	16	7	3	11	2	2	1	5	1	5	2
割合	94.3	20.4	5.7	8.9	10.2	4.5	1.9	7.0	1.3	1.3	0.6	3.2	0.6	3.2	1.3

※複数資格を保有している人については、経験年数をもっとも長い資格で集計を実施している。

2. 看護職として最後に退職した施設

最後に退職した施設で最も多かったのは「病院」であり、155人中103人（66.5%）であった。

■最後に退職した施設（保有資格別）

回答者の資格	病院	診療所	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	通所介護	その他（介護施設）	訪問看護ステーション	行政（市区町村等）	健診センター	企業・事業所	看護系教育機関	保育施設	学校（看護職）	その他
保健師（n=6）	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0
助産師（n=2）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師（n=131）	94	13	0	2	7	5	0	2	1	1	0	4	1	1
准看護師（n=16）	6	3	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体（n=155）	103	16	4	3	9	5	0	6	1	2	0	4	1	1
割合	66.5	10.3	2.6	1.9	5.8	3.2	0	3.9	0.6	1.3	0	2.6	0.6	0.6

※複数資格を保有している人については、経験年数をもっとも長い資格で集計を実施している。

※n=155…看護職経験なしが2名いるため。

3. 施設での勤続年数

最後に退職した施設での勤続年数を訪ねたところ、最も多い人数は、「10年以上」で155人中63人（40.6%）であった。

■最後に退職した施設での勤続年数（保有資格別）

回答者の資格	1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	不明
保健師 (n=6)	0	0	1	3	2	0
助産師 (n=2)	0	0	0	0	2	0
看護師 (n=131)	12	25	14	28	52	0
准看護師 (n=16)	2	3	0	4	7	0
全体 (n=155)	14	28	15	35	63	0
割合	9.0	18.1	9.7	22.6	40.6	0

※複数資格を保有している人については、経験年数がもっとも長い資格で集計を実施している。

※n=155…看護職経験なしが2名いるため。

4. 施設の退職理由

最後に退職した施設を聞いたところ、最も多かった理由は、「転居（配偶者の転勤等）」18.5%であった。次いで、「健康上の理由」「出産・育児」「定年」「人間関係」の順であった。30歳代の退職理由では、「転居（配偶者の転勤等）」「出産・育児」「結婚」といった生活の変化に関する理由が多かった。

「その他」意見としては、「不妊治療のため」が数件あり、他「うつ病」「看護部への不満」「看護体制・組織への不満」「家庭に負担をかけたくない、ゆっくりしたい」「通勤時間」「医院の閉院」等があがっている。（P12 自由記述集参照）

■最後に退職した施設の退職理由（年代別）

※複数回答

回答者の年代	転居 (配偶者の転勤等)	健康上の理由	出産・育児	人間関係	自分の通性・能力の不安	休みがとれない	結婚	介護	家事との両立ができない	労働時間への不満	賃金への不満	看護の他分野への興味	教育・研修体制への不満	夜勤ができない	進学	看護以外の分野への興味	定年	その他	不明
20代 (n=14)	7	0	5	1	2	2	3	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0
30代 (n=42)	18	3	13	4	2	5	10	2	0	5	3	3	2	1	2	0	0	5	0
40代 (n=30)	3	9	5	5	4	0	1	2	6	2	2	0	1	2	2	1	0	7	0
50代 (n=34)	0	11	1	8	8	7	0	6	6	2	2	3	2	2	0	1	0	10	0
60代 (n=37)	1	2	1	3	4	1	0	4	0	0	1	0	0	0	0	1	23	3	0
全体 (n=157)	29	25	25	21	20	15	14	14	12	11	8	7	6	5	4	4	23	25	0
割合	18.5	8.9	15.9	8.9	14.6	2.5	7.6	15.9	13.4	7.0	3.2	9.6	5.1	3.8	12.7	4.5	2.5	15.9	0

5. 未就業の期間

看護職員としての未就業期間を尋ねたところ、「1年未満」が最も多く39.5%、次に「3年未満」33.1%、「5～10年未満」11.5%と続いている。0～3年未満をみると72.6%であった。

■未就業の期間（年代別）

回答者の年代	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	不明
20代 (n=14)	5	8	1	0	0	0
30代 (n=42)	14	11	6	11	0	0
40代 (n=30)	14	7	2	1	6	0
50代 (n=34)	15	11	4	3	1	0
60代 (n=37)	14	15	2	3	2	1
全体 (n=157)	62	52	15	18	9	1
割合	39.5	33.1	9.6	11.5	5.7	0.6

6. 再就職希望の有無

再就職希望が「ある」と回答した人は、全体の65.0%であった。

再就職希望が「ある」と回答した人を年代別で見ると、「30歳代」が31.4%と最も多く、次いで「40歳代」23.5%、「50歳代」22.5%であった。

再就職希望が「ない」人は、全体の35.0%であった。

■再就職希望の有無（年代別）

回答者の年代	再就職希望が「ある」	再就職希望が「ない」
20代 (n=14)	9	5
30代 (n=42)	32	10
40代 (n=30)	24	6
50代 (n=34)	23	11
60代 (n=37)	14	23
全体 (n=157)	102	55
割合	65.0	35.0

7. 再就職希望条件

1) 再就職の希望時期

再就職希望が「ある」と回答した102人に再就職の希望時期について尋ねたところ、「すぐに就業したい」と回答した人は32.4%、「一年以内」が44.1%であった。

「すぐに就業したい」と「一年以内」を合わせ、約8割弱が一年以内の再就職を希望している。「いずれ（一年以上後）」の再就職希望者は30歳代で最も多く、25.0%であった。

■再就職の希望時期（年代別）

回答者の年代	すぐに就業したい	一年以内	いずれ（一年以上後）
20代 (n=9)	2	3	4
30代 (n=32)	11	13	8
40代 (n=24)	10	10	4
50代 (n=23)	7	10	6
60代 (n=14)	3	9	2
全体 (n=102)	33	45	24
割合	32.4	44.1	23.5

2) 再就職を希望する施設

再就職を希望する施設では、20歳代～40歳代は「病院」が最も多かった。次に「診療所」「健診センター」「通所介護」「介護老人保健施設」の順であった。

■再就職を希望する施設（年代別）

※複数回答

回答者の年代	病院	診療所	健診センター	通所介護	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	行政（市区町村等）	企業・事業所	学校（看護職）	その他（介護施設）	訪問看護ステーション	保育施設	看護系教育機関	その他	不明
20代 (n=9)	8	2	3	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	1	0
30代 (n=32)	23	17	15	10	9	7	5	7	2	3	4	3	2	1	0
40代 (n=24)	17	11	4	5	3	2	5	5	2	2	3	3	3	1	0
50代 (n=23)	9	11	9	7	6	6	2	3	3	2	0	1	0	2	2
60代 (n=14)	0	0	5	7	6	4	6	2	5	3	2	1	2	0	0
全体 (n=102)	57	41	36	31	25	20	20	18	13	11	9	9	8	5	2

3) 再就職にあたっての希望条件

①職種

職種については、「看護師」としての就業希望が全体の約8割を占めている。

■職種（年代別）

回答者の年代	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	不明
20代 (n=9)	0	0	9	0	0	0
30代 (n=32)	3	0	28	1	0	0
40代 (n=24)	1	2	19	2	0	0
50代 (n=23)	0	0	17	4	1	1
60代 (n=14)	2	0	10	2	0	0
全体 (n=102)	6	2	83	9	1	1
割合	5.9	2.0	81.4	8.8	1.0	1.0

②勤務地・医療圏域別

就業を希望する勤務地は、「新潟」「中越」「上越」の順であった。

■勤務地・医療圏域別（年代別）

回答者の年代	下越	新潟	県央	中越	魚沼	上越	佐渡	県外
20代 (n=9)	0	5	1	2	1	0	0	0
30代 (n=32)	3	17	2	7	0	2	1	0
40代 (n=24)	1	14	2	3	1	3	0	0
50代 (n=23)	0	14	3	2	2	2	0	0
60代 (n=14)	0	5	1	3	0	5	0	0
全体 (n=102)	4	55	9	17	4	12	1	0
割合	3.9	53.9	8.8	16.7	3.9	11.8	1.0	0

③雇用形態

希望する雇用形態は、「非常勤（パート含む非正規）」が55.0%と最も多く、特に30代、40代の希望が多かった。

■雇用形態（年代別）

回答者の年代	常勤（正規）	非常勤 （パート含む非正規）	臨時 （アルバイトなど）	不明
20代 (n=9)	5	3	1	0
30代 (n=32)	9	21	2	0
40代 (n=24)	10	13	1	0
50代 (n=23)	7	10	5	1
60代 (n=14)	1	9	3	1
全体 (n=102)	32	56	12	2
割合	31.4	54.9	11.8	1.9

④勤務形態

希望する勤務形態は、「日勤のみ」が88.2%と最も多く、「交代制」勤務では、「三交代」の希望が「二交代」よりも多かった。

■勤務形態（年代別）

回答者の年代	交代制（二交代）	交代制（三交代）	日勤のみ	夜勤専従	不明
20代（n=9）	2	2	5	0	0
30代（n=32）	1	1	29	1	0
40代（n=24）	0	4	20	0	0
50代（n=23）	1	0	22	0	0
60代（n=14）	0	0	14	0	0
全体（n=102）	4	7	90	1	0
割合	3.9	6.9	88.2	1.0	0

⑤給与額の希望状況

基本給額を聞いたところ、「11～15万円」が最も多く、次に「10万円以下」となっている。これは、非常勤（パート含む非正規）を希望する回答者が多かったと考えられる。

■給与（年代別）

※月給

回答者の年代	10万円以下	11～15万円	16～20万円	21～25万円	26～30万円	31～35万円	36万円以上	不明
20代（n=9）	2	1	1	2	2	0	0	1
30代（n=32）	8	11	4	6	2	0	0	1
40代（n=24）	6	8	1	6	1	1	1	0
50代（n=23）	4	5	6	5	2	0	0	1
60代（n=14）	6	5	2	1	0	0	0	0
全体（n=102）	26	30	14	20	7	1	1	3
割合	25.5	29.4	13.7	19.6	6.9	1.0	1.0	2.9

⑥週休

週休の希望は、「4週8休（完全週休2日制）」が5割を占めていた。次に「その他（臨時・就業日が少ない等）」となっている。

■週休（年代別）

回答者の年代	4週6休 (隔週週休2日制)	4週8休 (完全週休2日制)	こだわらない	その他 (臨時・就業日が少ない等)	不明
20代 (n=9)	0	4	2	2	1
30代 (n=32)	1	19	5	7	0
40代 (n=24)	1	13	1	9	0
50代 (n=23)	0	12	5	6	0
60代 (n=14)	2	2	2	8	0
全体 (n=102)	4	50	15	32	1
割合	3.9	49.0	14.7	31.4	1.0

⑦通勤時間

通勤時間については、「15分以内」の希望者が31.4%、「30分以内」の希望者が51.0%であった。8割以上が通勤30分以内を希望している。

■通勤時間（年代別）

回答者の年代	15分以内	30分以内	1時間未満	1時間以上でも可	不明
20代 (n=9)	2	5	1	1	0
30代 (n=32)	10	20	2	0	0
40代 (n=24)	9	14	1	0	0
50代 (n=23)	7	6	7	0	1
60代 (n=14)	4	7	0	2	0
全体 (n=102)	32	52	11	3	1
割合	31.4	51.0	10.8	2.9	1.0

⑧福利厚生

福利厚生について聞いたところ、「育児・介護休業（時短を含む）」が48.0%と最も多く、次いで、「自己啓発支援（キャリアアップ支援）」33.3%、「住宅手当・家賃補助」29.4%の順であった。

■福利厚生（年代別）

※複数回答

回答者の年代	育児・介護休業 (時短含む)	自己啓発支援 (キャリアアップ支援)	住宅手当 家賃補助	保育施設	宿舎 独身寮	その他	不明
20代 (n=9)	5	1	3	2	1	0	2
30代 (n=32)	19	11	11	8	1	3	1
40代 (n=24)	13	10	8	1	0	2	6
50代 (n=23)	10	6	6	0	1	4	6
60代 (n=14)	2	6	2	0	0	5	2
全体 (n=102)	49	34	30	11	3	14	17
割合	48.0	33.3	29.4	10.8	2.9	13.7	16.7

⑨教育・研修体制

教育・研修体制について聞いたところ、「中途採用者の教育プログラム」が55.9%と、5割以上の方が中途採用者の教育プログラムの充実を希望している。

■教育・研修体制（年代別）

※複数回答

回答者の年代	中途採用者の 教育プログラム	他施設が実施する 研修会の受講	専門・認定看護師の 資格取得制度	その他	不明
20代 (n=9)	4	1	4	0	2
30代 (n=32)	22	10	5	1	5
40代 (n=24)	16	9	3	0	5
50代 (n=23)	9	10	2	1	7
60代 (n=14)	6	9	0	1	1
全体 (n=102)	57	39	14	3	20
割合	55.9	38.2	13.7	2.9	19.6

⑩もっとも重視する就業条件

就業するにあたり最も重視する条件について問うと、「勤務時間」が48.0%と最も多かった。次いで、「看護内容」19.6%であり、「給与」は6.9%と少なく、金銭的な待遇よりも、希望する勤務時間で働きやすさを求める人が多かった。

■もっとも重視する就業条件（年代別）

回答者の年代	勤務時間	看護内容	給与	休暇	通勤時間	教育 研修体制	福利厚生	不明
20代 (n=9)	3	2	2	1	0	0	0	1
30代 (n=32)	19	6	2	0	1	0	1	1
40代 (n=24)	13	2	3	2	1	2	1	0
50代 (n=23)	8	5	0	1	3	1	0	3
60代 (n=14)	6	5	0	1	0	0	0	0
全体 (n=102)	49	20	7	5	5	3	2	5
割合	48.0	19.6	6.9	4.9	4.9	2.9	2.0	4.9

8. 夜勤をすることが可能となる条件

夜勤をすることが可能となる条件について聞いたところ、「夜勤回数が少ない」が14.7%、次いで、「夜勤手当が高い」9.8%、「拘束時間が短い」8.8%、「家族（配偶者）の理解・協力が得られる」8.8%であった。しかし、最も多かったのは「環境が整っていても夜勤はしない」20.6%であった。

■夜勤をすることが可能となる条件（年代別）

※複数回答

回答者の年代	夜勤回数が少ない	夜勤手当が高い	拘束時間が短い	家族（配偶者）の理解・協力が得られる	家族（配偶者以外）の理解・協力が得られる	急な夜勤の休みも対応してもらえる	夜勤の時間帯を選べる	仮眠が取れる	夜間保育がある	ベビーシッター費用補助がある	その他	環境が整っていても夜勤はしない	不明
20代 (n=9)	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	2	4
30代 (n=32)	5	3	4	5	6	4	1	1	2	1	0	4	13
40代 (n=24)	4	0	3	3	0	0	2	0	0	0	0	5	11
50代 (n=23)	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	6	12
60代 (n=14)	4	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	5
全体 (n=102)	15	10	9	9	7	6	4	4	2	2	0	21	45
割合	14.7	9.8	8.8	8.8	6.9	5.9	3.9	3.9	2.0	2.0	0	20.6	44.1